



# 食育だより 2月

2025.2 井芹 文責

今年度も残すところ、あと1か月になりました。遅くなりましたが、1月の様子を踏まえて、お知らせします。



1月23日～29日は、学校給食記念週間でした。本来、24日から～30日ですが、行事等を踏まえて、1日早く実施しました。取り組みとして、3つのことを行いました。

- 1、給食時間の放送による児童による給食に関する作文の発表
- 2、児童集会による給食委員会の「給食片付け方」の紹介
- 3、栄養教諭が作成した「給食室の1日」という動画の視聴



動画を見ただけで、各学級で給食室に手紙ももらいました。一部紹介します。

「きのこが苦手だったけど、給食のおかげで、少しだけ好きになりました。(2年生)」 「今まで当たり前のように食べていた給食は思っていたよりも大変で、色々な人のおかげで成り立っているんだと改めて実感しました。(6年生)」と様々な形で感謝の気持ちが書かれていました。

この期間で、学校給食について、少しでも考える期間になってくれたら、とてもうれしいです。

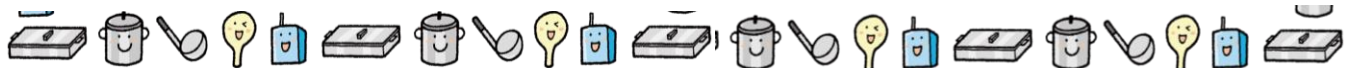
## 頼もしさがレベルアップ↑↑給食委員会

学期が進むにつれ、給食委員会の児童の給食片付けの委員会活動もとても上手になりました。

給食室は、体育館の隣に位置し、片付けの活動は、吹き抜けの渡り廊下のところで行います。そのため、夏は暑く、冬は寒いという環境の中、給食委員会の5・6年生は、日々頑張ってくれています。



4月当初は、やっているのはみたことはあるが、やり方はわからない、スムーズに作業がいかず、自分の担当の場所で、長蛇の列を作ってしまったなど色々と苦戦していましたが、今では、早い時15分くらいで片付けを終えることができるようになりました。とても頼もしい給食委員会に、いつも助けられています。あと少して今年度の給食委員会は終わってしまいますが、それまでしっかり活動してもらいたいと思います。



3学期になると、どの学年も残食の量がへり、よく食べるようになってきました。

特に、変化が大きいのが1年生です。

1学期は、給食室に返しに来る残食量がどの料理も半分以上残っていたり、給食時間があと5分で終了という時でも、給食を食べ終わっている児童の方が、数えるくらいでした。

しかし現在では、残食の量は、少ない日で約3分の1、残食がないクラスもでてきました。

また給食時間内に、給食を食べ終わる児童の方が少し多くなりました。

この調子で、来年度もしっかり食べて、勉強や運動を頑張ってください。

